

# 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

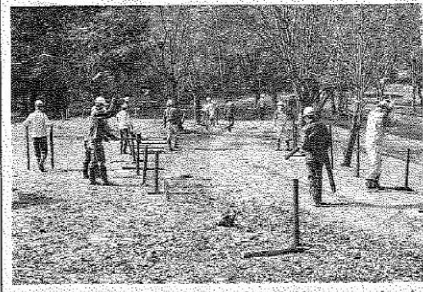
（一社）札幌林業土木協会

活動内容	ポロトキャンプ場の周辺環境整備
1 実施年月日 : 令和4年10月21日（金） 2 実施場所 : 北海道白老町 白老国有林 胆振東部森林管理署管内 ポロト自然休養林 3 参加会員数 : 胆振東部管理署3人 会員企業22社31人及び事務局1人 計35人 4 活動内容	<p>胆振東部森林管理署は、苫小牧市周辺の63千haの国有林を管理経営していますが、中でもポロト湖周辺のポロト自然休養林（395ha）は、アイヌ文化発信拠点となっていて令和2年7月には国立アイヌ民族博物館などの施設が設置され、多くの観光客が訪れています。</p> <p>これに隣接するキャンプ場周辺は国有林であり、キャンプ場に至る散策路に設置されている木柵の老朽化が進んでいました。</p> <p>そこで、胆振東部森林管理署と当協会が相談し、利用者が安全に散策等を楽しめるように昨年に引き続き木柵を修繕することとしました。</p> <p>当日、22企業31人及び森林管理署から2名が参加し、古い木柵を撤去し新規に木柵約150本を設置しました。</p> <p>キャンプ場利用者からは、キャンプ場の関連施設整備に関する要望があることから、当協会では地域のニーズに応える社会貢献活動を引き続き行う予定です。</p>
活動写真	
	
中島ボランティア委員長あいさつ	櫻庭署長のあいさつ
	
木柵交換作業	作業完了後

札幌林業土木協会  
 【苫小牧】札幌林業土木協会のポロト自然休養林でキ  
 木協会は24日、白老町内一キャンプ場の木柵を整備し

### キャンプ場木柵整備

#### 白老のポロト自然休養林



た。利用者が安心・安全に散策などを楽しめるよう作業した。

休養林は2020年に開業した民族共生象徴空間(ウポポイ)に隣接。利用者が増えることを見

越し、4年前から環境維持活動をしている。作業に先立ち、同協会の中島功治がランディア委員長は「キャンプの流行もあり利用者が増えている。安全で気持ちよく散策できるように手伝いたい」とあいさつした。

胆振東部森林管理署の核庭英明署長は「18年度からカープミラーの補修や木柵整備をしてもらっているが、休養林を利用する人や、まらの手際よく木柵を設置した

活性化にとつてもありがたい」と感謝した。

22社から31人が参加。古くなった木柵を抜き、

新たに約140本の木を等間隔に設置した。